

## 分岐用端子台 (連結固定形) FTK-S/-W

商品の詳細はこちら



### ■ 特長

- 1次側電源および2次側電源の分岐用として便利なスタッド型端子台です。
- 連結固定形FTK-Sシリーズとネジ取付け固定形DF-Sシリーズの2種類の品揃えがあります。

### ■ 形式の構成

FTK-□□□□×□P

① ② ③ ④

- ①：基本形式…『FTK』
- ②：電流カテゴリー…『125、200、300、400、600』
- ③：単品端子構成…『S』ネジ端子+スタッド端子(標準品) 『W』スタッド端子+スタッド端子
- ④：連結極数…『1~4』と連結記号『P』の組合せで表記

保護カバー、マークバンドは一緒に組み込まれています。  
マークバンドへの印字も承ります。

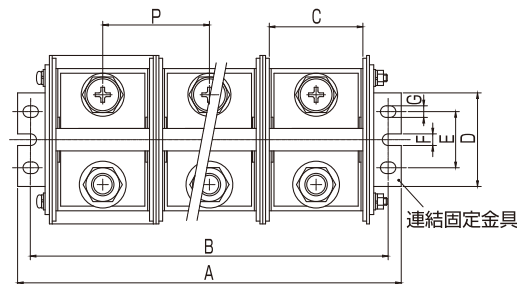
### ■ 共通定格・仕様

定格絶縁電圧	1000V
耐電圧	3500VAC・1分間
絶縁抵抗	200MΩ以上 (DC500Vメガ)
使用周囲温度	-25℃~+70℃
使用周囲湿度	45~85%RH (但し、結露しないこと)
本体ケース材質	ポリカーボネイト (難燃グレード: UL94V-2)

### ■ 各形式の定格・仕様

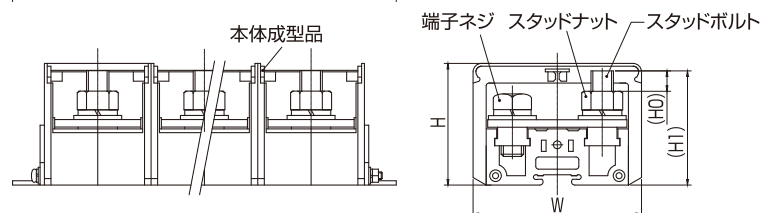
JIS定格/仕様	FTK-125S	FTK-200S	FTK-300S	FTK-400S	FTK-600S
定格通電電流	170A	240A	310A	500A	650A
定格適合電線	圧着60mm <sup>2</sup>	圧着100mm <sup>2</sup>	圧着150mm <sup>2</sup>	圧着150mm <sup>2</sup> ×2本	圧着200mm <sup>2</sup> ×2本
締付トルク	8~10Nm	15~20Nm	15~20Nm	25~35Nm	50~60Nm
端子ネジ	M8×16	M10×20	M10×20	M12×25	M16×35
スタッドボルト	M8	M10	M10	M12	M16
スペーサー(オプション)	φ20×H3	-	-	φ22×H5	φ27×H18

注. スペーサーはオプション品 (別売) です。



※FTK-400S/600S 圧着1本接続の場合

JIS定格/仕様	FTK-400S	FTK-600S
定格通電電流	370A	650A
定格適合電線	圧着200mm <sup>2</sup> ×1本	圧着325mm <sup>2</sup> ×1本



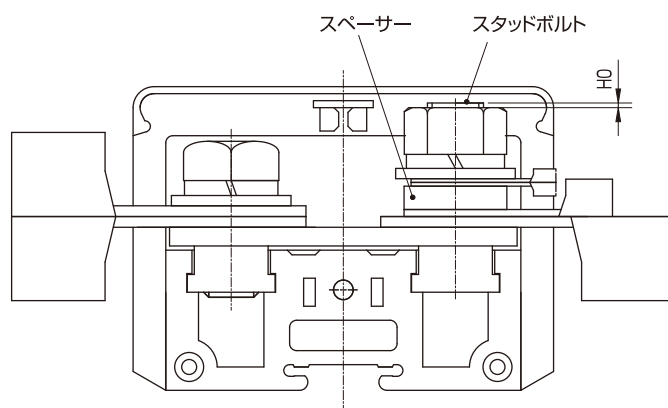
### ■ 外形および取付寸法

単位: mm

寸法記号	W	H (H1)	HO	P	C	D	E	F	G	1極: A/B	2極: A/B	3極: A/B	4極: A/B
FTK-125S	58	47.5(42.9)	8	27	24	27	-	5.2	-	56/47.5	83/74.5	110/101.5	137/128.5
FTK-200S/300S	75	55(50.5)	7/6	45	37	35	22	6.2	6.2	79/66	124/111	168/154	212.5/198.5
FTK-400S	90	65(61)	10.5	58	48	50	30	6.2	6.2	92/79	150/137	206.5/192.5	265/251
FTK-600S	114	83/(98.5)	31	63	51	60	40	6.2	6.2	97/83	160/146	222/208	286/272

## ■ 配線時の注意事項

- 1端子ネジ当たりの圧着端子の同時接続は、基本的に圧着端子を背合わせにして2本までとして下さい。圧着サイズが異なる場合は、大きいサイズを下側に小さいサイズを上側に配置して下さい。
- スタッド端子側にスペーサー(オプション品)を介在させることにより、その下側に2本、上側に2本までの圧着端子を接続することができます。この場合、構造的に接続可能な圧着端子を選択し、スタッドナットの締付け後に、その全ネジ山が確実にスタッドボルトに掛かっていることを確認願います。(HO:締付け後のスタッドボルト有効ねじ長 > 0)



- 配線接続状態での絶縁距離を確保してください。
- 圧着端子筒部が本体側壁と接触したり、圧着端子舌部が大きく曲がらないように配線願います。
- その他、接続条件・方法など不明な点がございましたら、別途お問い合わせ下さい。